

令和5年 第2回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、令和5年第2回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

先月8日、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザなどと同じ「5類感染症」に引き下げられましたので、市の施設での検温や会議室の人数制限などを大幅に緩和したところでもあります。

アルコール消毒液や空気清浄機の設置などは、継続しておりますが、今後も感染状況を見ながら、平常への回帰を進めてまいります。

また、令和5年春のワクチン接種につきましては、初回接種を完了した65歳以上の方や医療従事者等に対して、既に開始しておりますが、今後も希望する人にスムーズな接種ができるよう努めてまいりますので、市民の皆様には引き続き、基本的な感染防止対策の実践をお願いいたします。

さて、4年振りに通常開催となった先月の県高校総合体育大会の陸上競技において、中田町在住でイリツキセイノスケ 葦崎高等学校の入月誠ノ介選手が男子の短距離個人三冠を達成いたしました。

これは、75回を数える大会で初の快挙であり、日々の努力に心から敬意を表する次第であり、今後の活躍を大いに期待しております。

4月8日には、コロナ禍で中止が続いていた「春の武田の里ウォーク」を開催することができました。

当日は、天候にも恵まれ、葦崎中央公園を発着点として、雄大な山々を背景に桃の花が広がる新府桃源郷と新府城跡、穴山さくら公園などを巡るコースに、小学1年生から86歳までの622人にご参加をいただきました。私も12Kmコースにエントリーし、参加者の皆様と交流する中で、春の葦崎を満喫したところでもあります。

また、先月13日には、国道20号沿いにおいて、特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除活動を実施し、国土交通省をはじめ、環境衛生指導員、育成会など、141名のご参加により、720kgを駆除いたしました。

今後も、繁殖拡大の防止に努めるとともに環境保全への認識を深める取組みを推進してまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

始めに、電力・ガス・食料品等の価格高騰への対応についてであります。

低所得の子育て世帯への国及び県の特別給付金につきましては、先月末に児童

扶養手当の受給者であるひとり親世帯などに支給したところであります。

また、住民税非課税世帯に対する3万円、及び所得割のみ非課税世帯への2万円の給付につきましては、今議会に提出の補正予算案にその経費を計上しており、準備が整い次第、速やかに支給してまいります。

さらに、消費者の負担軽減と地域経済の活性化を図るため、30%のプレミアムを付けた総額3億2,500万円分の「チームにらさきエール商品券」を販売する予定であります。

例年、早期に完売されるなど好評を得ておりますので、多くの市民の皆様が購入できるように努め、家計支援と消費の下支えを図ってまいります。

次に、防災体制の強化についてであります。

今月18日の総合防災訓練では、台風などによる水害を想定し、マイ・タイムラインの作成と活用を意識した避難行動の確認や指定避難所での「にらさき防災・行政ナビ」を利用した情報伝達訓練等を実施いたします。

なお、秋の防災週間の9月3日には、大規模地震を想定した総合防災訓練を予定しているところでありますが、関東大震災から100年の節目の年となり、また、ここ最近、全国各地で地震が頻発しておりますので、市民の皆様には日頃から十分な備えをしていただきますようお願いいたします。

さらに、先般、県において大規模地震の新たな被害想定調査結果が公表されましたので、本市の地域防災計画などに反映してまいります。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

8月5日には、葦崎中央公園陸上競技場において、「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催いたします。

子どもから高齢者まで手軽にできるラジオ体操を通じ、市民の健康の保持・増進に繋げる契機としてまいりますので、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

また、ヴァンフォーレ甲府が出場するアジアチャンピオンズリーグにつきましては、9月から始まるグループリーグに向けて、激励のための経費をはじめ、応援ツアーのバス代や懸垂幕の作成に係る費用を補正予算案に計上したところであり、アジアの頂点を目指して、すばらしい試合が展開されることを期待しております。

次に、学校教育の充実及び国際交流の推進についてであります。

昨年度、葦崎小学校において実施した姉妹都市フェアフィールド市の中学生とのオンライン交流は、国際理解教育の良い契機となりましたので、本年度、穂坂小学校、葦崎北東小学校及び葦崎北西小学校で行う予定であります。

また、冬の中学・高校生派遣事業につきましては、再開するとともに夏のホームステイ事業につきましても早期の実施に向けて協議を進めております。

なお、姉妹都市交流50周年記念親善使節団訪米事業につきましては、コロナ

禍により延期となっておりますが、今月25日から来月2日にかけて実施できる運びとなり、姉妹都市との交流をさらに広げてまいります。

また、先月16日から28日まで「日本とチェコ外交交流100周年記念バナー展」を開催したところであります。

初日は、駐日チェコ共和国特命全権大使が来訪され、外交交流の解説や風光明媚な観光地のプレゼンテーションを受けることができ、異文化を学ぶ絶好の機会となりました。

今後も、本市との友好の絆をさらに深めてまいります。

次に、農業の振興についてであります。

葦崎産ぶどう及びワインの産地化・ブランド化につきましては、セミナーの開催や醸造研修のほか、地域おこし協力隊の受入れなどを行ってまいりましたが、これらの成果の一つとして、秋には新たな小規模ワイナリーが開業される運びとなりました。

引き続き、地域再生計画の認定による交付金も活用しながら、葦崎産ワインのプロモーションに取り組んでまいります。

次に、観光基盤の整備についてであります。

甘利山グリーンロッジにつきましては、観光客誘致や施設の魅力と利便性の向上を図るため、ロッジ内外の改修、キャンプ場及び炊事棟の整備を行い、先月リニューアルオープンをいたしました。

県の甘利山公園線道路改良工事も終わり、ゴールデンウィークには、予約で一杯となる日があるなど、好調なスタートを切ることができたところであり、今後も積極的に周知を図り、本市の魅力ある観光資源の一つとして活用してまいります。

また、今月24日からモデル事業として、葦崎駅から甘利山広河原駐車場までのタクシーによる送迎が定額で利用できるサービスを開始いたします。

一人当たり2千円で乗車できることにより、電車からのアクセスが向上され、シーズンを通じ、多くの方々と賑わうことを期待しております。

次に、雇用の促進・安定についてであります。

来月8日、「やまなし県央連携中枢都市圏」の事業の一つとして、合同就職ガイダンスをアイメッセにおいて開催いたします。

圏域全体での実施は初めてとなりますが、それぞれの市町との連携による相乗効果を期待するとともに、さらなる人材確保や雇用の促進に繋げてまいります。

次に、道路の整備についてであります。

葦崎駅前周辺整備につきましては、昨年度から、地下道の解体撤去や新設照明灯の設置工事を実施してまいりましたが、安全施設や横断歩道などの整備が完了し、近日中に供用開始できる見込みとなりました。

今後は、バス・タクシーの発着場の改修を予定しており、歩行者などの利便性や安全性がさらに高まるものと考えております。

次に、男女共同参画社会の推進についてであります。

性的少数者などのカップルの関係を公的に証明する「パートナーシップ制度」につきましては、多様な性のあり方を尊重し、共生社会を推進するため、男女共同参画推進委員会からの提言や昨年度実施したアンケートなどの意見を参考に、ファミリーシップ制度と併せて本年度、導入に向けて本格的に検討してまいります。

次に、市民が参加できる機会の創出についてであります。

8月10日に、4年振りとなる中学生議会を開催いたします。

生徒からいただく意見の活用はもとより、これらの機会を提供することにより、市政や議会に対する関心を高め、社会参加へのきっかけの一助となることを期待しております。

次に、多文化共生社会の実現についてであります。

不安や悩みを抱える本市に在住する外国人の方々が安心して暮らせる環境をつくるため、国及び県の事業を活用して、日本語モデル教室を開催いたします。

教室では、住民との対話も実施し、相互の交流や理解促進を図り、誰もが地域に参画できる社会の実現を推進してまいります。

次に、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進についてであります。

マイナンバーカードにつきましては、さらなる普及を図るため、8月から出張申請受けを開始するとともに市独自の特典として、期間中に新規申請された方に現金5千円を給付する経費を補正予算案に計上しております。

また、業務やサービスのデジタル化につきましては、統一した考えや目的を明文化したDX推進方針を策定したところであり、全職員が共通認識を持ち、スピード感を持って取り組んでまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところでありま

す。これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

| | |
|-------|----------|
| 報告案件 | 9件、 |
| 予算案件 | 1件、 |
| 条例案件 | 3件、 |
| その他案件 | 1件であります。 |

まず、令和4年度予算の専決事項についてであります。

3月補正予算編成後において、地方譲与税及び特別交付税等の交付額や各種事業費の確定により、3億2,540万8千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第8号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、令和5年度予算の専決事項についてであります。

当初予算編成後において、物価の高騰に直面し、特に影響を受ける子育て世帯に対し、生活支援を目的とした臨時給付金を給付するため、6,099万6千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第1号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、令和5年度一般会計補正予算についてその概要を申し上げます。

今回の補正は、電力・ガス・食料品等の価格高騰に対応した生活支援事業費やチーム韭崎エール商品券事業費のほか、緊急性を生じた事業を中心に編成したところであります。

先ず、総務費であります。

ヴァンフォーレ甲府のアジアチャンピオンズリーグ出場に伴う応援経費として、ヴァンフォーレ甲府支援事業費に200万円、マイナンバーカードの交付申請率の向上を図るため、戸籍住民基本台帳事務費に1,417万2千円を増額するなど、総額2,860万8千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

エネルギー・食材費等の価格高騰に対応し、生活支援金を給付するため、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費に1億356万5千円、くらし応援臨時特別給付金給付事業費に1,633万9千円を追加計上するなど、総額1億2,423万6千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

10月から県で運用が開始される救急安心センターの運営費負担金として、医療体制支援事業費を21万3千円増額補正しております。

次に、労働費であります。

移住支援金の交付金加算額の改正に伴い、若者定住就職奨励事業費1,090万円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

青年就農者に対する農業機械購入費等の補助として、新規就農者支援事業費703万2千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

地元企業の新工場建設等に伴う企業立地助成金として、企業立地支援事業費を3,389万3千円、チームにらききエール商品券事業費を3億3,393万5千円追加計上し、総額3億6,782万8千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

コミュニティ助成事業の採択により、消防団活動に係る物品購入経費として、消防団運営事業費に106万5千円、自主防災組織の活動に要する資機材購入経費として災害対策事業費に210万5千円を追加するなど、総額300万2千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

県道の道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査経費として、公共事業埋蔵文化財確認等調査事業費に200万4千円、民俗資料館に隣接する枯れ木の伐採経費として、民俗資料館管理運営費に80万3千円を追加計上し、総額280万7千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、5億4,462万6千円を増額補正となり、現計予算額は、173億5,862万2千円となります。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げ、私の所信といたします。

令和5年6月1日

葦崎市長 内藤 久夫